

操縦学総合演習1

科目ナンバー 2E110
HPC 選択 1単位

今井 道夫

1. 授業の概要(ねらい)

自家用操縦士の学科試験科目(工学、通信、航法、気象、法規)の試験に合格するための知識を学びます。実機等を使用し、外部点検、始動試運転要領、3舵の操縦、ホバリング、離着陸、オートローテーションの要領について学びます。この授業は主に実習形式で行います。
DP2・4・5に関連する科目です。

2. 授業の到達目標

自家用操縦士の学科試験対策を行い、3月期もしくは7月期の国家試験(学科試験)に合格する。その他自家用操縦実習に必要な知識を修得できる。

3. 成績評価の方法および基準

模擬問題の成績(80%)、取り組み姿勢(傾向と対策だけでなく知識定着の工夫の程度)(20%)により評価します。
模擬問題の解答内容に応じて解説します。

4. 教科書・参考文献

教科書

操縦教本

ALP

参考文献

学科試験スタディガイド 日本航空機操縦士協会 ISBN978-4-931160-07-1

5. 準備学修の内容

予習として、学科試験対策を行うにあたり、事前に模擬問題等を配布し各人毎に解答する(2時間)。それに基づき講義を進めます。復習として、事業用操縦士実地試験の科目の実施要領 及びその科目を行うために必要な詳細な知識について、この授業と操縦実習を関連させて整理し、毎回ノートにまとめること。(1時間以上)

6. その他履修上の注意事項

授業は下妻ヘリポートで行います。

7. 授業内容

- 【第1回】 外部点検、始動試運転要領
- 【第2回】 3舵の操縦、ホバリング
- 【第3回】 離着陸及びオートローテーション
- 【第4回】 学科試験対策(工学― 基礎)
過去の出題問題を解答させながら知識を修得します。
- 【第5回】 学科試験対策(工学― 空気力学)
- 【第6回】 学科試験対策(工学― 諸系統)
- 【第7回】 学科試験対策(工学― 飛行規程)
- 【第8回】 学科試験対策(通信― 航空交通業務)
- 【第9回】 学科試験対策(通信― 管制業務)
- 【第10回】 学科試験対策(法規― 航空法)
- 【第11回】 学科試験対策(法規― 運航方式)
- 【第12回】 学科試験対策(空中航法)
- 【第13回】 学科試験対策(航法― 一般的知識)
- 【第14回】 学科試験対策(気象― 基礎)
- 【第15回】 学科試験対策(航空気象)